



おおぐろ

花と読書と
あいさつの
学校

令和6年11月25日発行

子どもを信じて認めたい

校長 向吉 晴美

おもいやり算 + - × ÷

「+」は、**たすけあう**
 「-」は、**ひきうける**
 「×」は、**声をかける**
 「÷」は、**わけあう**

人を
えがおに
する
さんすう

つい先日まで暑い日が続いていましたが、ここ最近急に寒くなりました。報道によるとこの状況が続くと日本は秋と春が短くなり、やがて夏と冬だけになるとか。日本特有の四季がなくなるのは寂しいものです。原因といわれる地球温暖化にストップをかけるためにできることを取り組みたいと思うことでした。

さて、月1回行われる全校集会の話は、校訓「かしこく やさしく つよく」を意識して話を組み立てています。11月の全校集会は「やさしく」をテーマに「おもいやり算」の話をしました。この「おもいやり算」の考えをもとにして最近あった心の温まる話をしました。ある日の朝、校門周辺の溝の落ち葉を集めていると2人の兄弟がやってきて「ぼくも手伝います。」と声をかけて、一緒に集めてくれました。翌日、3年生のAさんが来て「ぼくも手伝います。」と声をかけて、落ち葉を入れる袋と一緒に広げて集めやすくしてくれました。更に次の日、2年生のB、Cさんが「ぼくもします」とひきうけてくれました。みんなで落ち葉拾いの掃除をわけあい、たすけあって学校の周りをきれいにしました。5人の子どもたちがおもいやり算を使って私を笑顔にしてくれたという結びで終わったとき5人のうれしそうな表情が目に飛び込んできました。

小学5年生を対象にした全国学力・学習状況調査の結果、鹿児島県の子どもたちは、全国平均と比べて自己肯定感（自分にはいいところがある）が低いという結果でした。鹿屋市の平均は県の平均より更に低い結果が出していました。先日、県校長研修会の「心の教育」分科会に出席しましたが、ここでも自己肯定感について話題になりました。全国的に年々不登校生が増えています。要因の一つに自己肯定感の低さがあります。この自己肯定感を高めるには子どもを褒めるだけでなく「認める」ことが大事だという話がありました。何でも褒めたり、認めたりすればいい訳ではないと思います。子どもががんばっていることを認めることが大事だと思います。がんばっていることを認められたとき子どもは瞳がきらきらと輝きます。自己肯定感の高い子どもは失敗しても、また立ち上がりうとする力が強いそうです。認めるとき気をつけないといけないことは、子どもが大人の希望通り（都合よく）に動いたとき認めるのではなく、本人自身の意思で動いてがんばったことを認めることが大事だそうです。

社会に出ると楽しくていいこともたくさんありますが、つらいこと、心が折れそうなこともあります。どちらかというと後半の方が多いかもしれません。そんなとき「自分はできる、自分なら乗り越えられる」と自分を信じて前に進むことができる大黒の子になってほしいと思っています。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日～7日に地域が育む「かごしまの教育」県民週間がありました。また、7日には、大黒保育園の園児を招き、1・2年生が大黒秋祭りを開催しました。保護者の方にもたくさんご参加いただきました。ありがとうございました。



人権の花運動 閉校式

～感謝状をいただきました～

今年は校内にひまわりをたくさん植えました。これからもお互い優しさと思いやりの心を持ち続けてほしいです。

鹿屋市人権教育標語特選

5年加治木 優李さん
 「一人じやない いつでも私が そばにいる」



「体育センターがやってきた」

鹿児島県体育センターから講師の先生に来ていただき、みんなが楽しめるニュースポーツを教えていただきました。運動に親しむきっかけになるといいですね。



12月の行事

3	火	思いやりの心を育てる人権教室
6	金	持久走大会・学級PTA
9	月	寺子屋
14	土	親子読書の日 PTA門松作り
23	月	寺子屋
24	火	終業式 集団下校

レツリサイクル

10月分のリサイクル収益は、以下のとおりです。10月当番の川平さんと渡辺さんありがとうございました。12月の当番は城ヶ原さんです。よろしくお願いします。

アルミ缶等	ペットボトル	合計(円)
260円	720円	980円